

住居 町並
環境 福祉

Suzuki & OokWood / Architects & Associates

(設計同人) スズキ・オオキ 建築デザイン アトリエ

一級建築士事務所
福祉住環境コーディネーター室

<http://sagamipara.net/ookwood/>



共和設計&OokWood 相模大野 1991

次代の敬意に迎えられる 地域町並み環境・建築・資産
活用の総合デザイン&プランニング シンクタンク

Profile 1. (大木正美)

(2004~) S&O 設計同人/企画・デザイン事務所再編

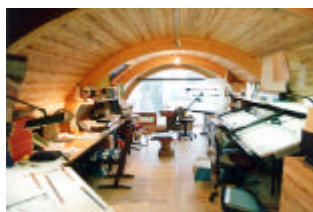
(1998~2003) 八菅山・民家再生研究工房 SOHO

(1994~2003) おおきまさみ環境建築デザイン工房

(1985~1994) 共和設計(同人)/開発企画デザイン事務所

(1981~1985) 西沢幸造設計事務所(契約勤務)

(1978) (生地)小田急相模原アトリエ開設



アトリエ ~1994



古民家 SOHO1998~2003

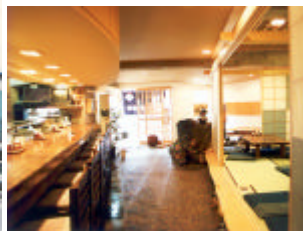
OokWood / My Favorite Works / 主な作品・プロジェクト



Y邸 (相模原市相模台) 1996



あつみ寿司マンション(相模原市若松) 1989



Y邸 (1996)
木造 (混工法)
2階建 4層 133㎡+

あつみマンション(1989)
RC造 3階建 5層
212㎡+



Y邸 (相模原市東林間) 1994



M邸 (町田市相原町) 1992



Y邸 (1994)
木造 New Traditional
2階建 3層 77.5㎡

M邸 (1992)
木造 arched集成 frame
2階建 3層 154㎡



O邸 (相模原市相原) 1991



A邸 (相模原市若松) 1990

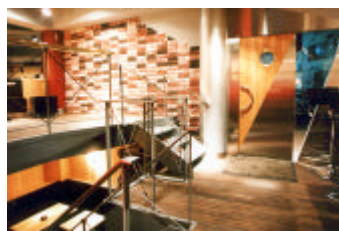


Pマンション(座間市相模が丘)1988

O邸 (1991)
木造 New Traditional
2階建 4層 151㎡

A邸 (1990): reform
鉄骨+木造
2階建 90㎡

Pマンション(1988)
鉄骨造
3階建 4層 327㎡



Cafe Bar (座間市相模が丘) 1988



C Apartment.(相模原市元橋本)1987



Rコーポ(相模原市古淵) 1987

Cafe Bar (1988)
1F+地下 2層 60㎡

C Apartment (1987)
2*4 2階建 3層 171㎡+

Rコーポ (1987)
RC造 3階建 410㎡



O 邸 (相模原市相南) 1988 ~ 1997



R2D2 間伐材 Model (相模原市旭町) 1991

O 邸 (1988 ~ 1997)
アーチド集成フレーム
・間伐材シェル 2 層 156 m²

R2D2 (1991)
間伐材住宅 20 坪 Model:
アーチド集成フレーム
・間伐材シェル 2 層 66 m²



H 邸 & テナント・プロムナードプロジェクト (座間市/小田急相模原駅北口) 1986 ~ 1988

H 邸 (1986 ~ 1988)
木造 2 階建 3 層 159 m² +
&
テナント 3 店 &
プロムナードプロジェクト



KIJIN 館 (愛川町中津) 1985



N 邸 (愛川町中津) 1985



KIJIN 館 (1985)
木造トラス 2 階建 133 m²
(基本設計・構造監修)
建築主自カアレンジ施工

N 邸 (1985)
バリアフリー住宅(第 1 作)
木造平屋 112 m²



S ミニパーク
(座間市相武台) 1992



「金太小屋」 工芸 & 喫茶 (小田急相模原) 1979 (実作 No.1)

S ミニパーク (1992)
エクステリアデザイン
: 100 m²

金太小屋 (1979)
工芸 & 喫茶:
木造平屋 75 m²
都市廃屋再生増築

1978 年、生地小田急相模原を活動拠点に本格設計活動を開始。因縁は、戦前、陸軍病院 (現・国立相模原病院) 建設に大工集団を率いて定住した祖父の系譜による。

十代後期は学園紛争・混沌混乱の時代、個の埋没より海の外の見聞に思いを馳せた。フリーター稼業の蓄えが渡航費に達するのをもどかしく 100 ドル足らずを懐に、海外へ旅立った。(1971)

建築に限らず一番学びそして自己の確立を得たと確信を持てるのは、その冒険の旅、文字通りその on the way (途上・路上生活)。

日本からの自分探しの旅人と知って自邸へ招き入れてくれた数多くの人々との偶然の出会い。市井の文化・教養の諸先輩方が多様な価値観の師となった。建築家、環境調査官、造園家、美術家、ネイティブ工芸家・・・「多様さを尊重し、かつ、いかに人と違う価値で生きるか」が哲学の人々。

様々な助言、「物質的な豊かさのみを追いかけた国の、得たもの、その代償に失ったもの」、「自分の生まれ育った環境と文化への深い理解と確信の表現を持つことこそがインターナショナルであること」、「肉親の『血』こそが最大の信頼の絆であること」・・・ 様々な価値観・・・

西欧を追って高度成長中の当時の日本には特有の妙な建築専門教育の価値観があったように思う。その類を吹き込まれないうちに、もっと大きな様々なものに接することができたことは、今となっては十二分に自分に納得が出来ている。行き当たりばったり寝床を探す野宿の長い旅の中で、人が安らげる空間とは？環境とは？人の輪とは？を日々肌身で実感した。

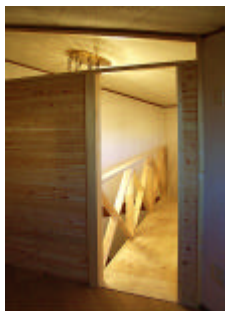
幸いアーキテクトという「ヒューマニズムと空間」デザインの仕事を与えられ、実作第 1 号はその肌身の感性そのままにスタートした。

今もって on the way 日々学びながら、熟成に向けて微速前進し続けている。

近作, そのほかの仕事 & 活動ダイジェスト



間伐材&木づくし reform
K邸 (厚木市) 2002



間伐材 reform
C邸 (相模原市) 2001



神奈川の木づくり提案
2002

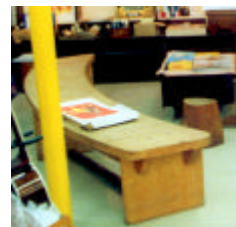
間伐材パーティション
NPO アリスセンター (横浜)
2002 (計画) (提案合成写真)



厚木市飯山の古民家・解体/調査保存活動
2001-2002



間伐材本実カット 個室キット Model I
(相模原市) 1987



間伐材 R ベンチ
BOOKS CORE (愛川町)



○ 医院旧邸 解体調査記録保存 (愛川町) 2000
(同行協力: 東海大稲葉助教授)



愛川町現存木造校舎 記録調査
& 再生活用提案 2001



(旧)K邸 移築解体記録調査 (藤沢市) 1999
(日大堀江研究室協働)



相模原市の道路を考える会・市民活動
1992 ~ 2004



1990年代後期、脳出血後遺症の障害が日増しに進む母を引き取り介護に明け暮れる。精神的負担と泡沫拡散時代の後始末で、設計実作低調期。日々発見に及ぶ介護対応改修や、付近の主要市道の歩道改善活動に余力の全てを注ぐ。耳学問ワンパターンでない多様な「標準化」(ノーマライゼーション・ユニバーサルデザイン)を実地肌身で仕込まれる。同じくして気ままな人生とは言え、与えられるべくして与えられた「社会的使命」感というものを知る。

「作家は処女作に向かって再び熟成する」という。名言の重みをさらに胸に刻んでいる。

老いることへの敬愛と、古い建物への元気の復活を願う気持ちが符合する。

若い記憶力エネルギーで一気に覚える「標準」仕様とはまた違う、体験した時間の長さでのみ得られる積み重ねの確信も備わってきたように感じてはいる・・・



近影: 大木正美&悦子 (前後列右)
(旧)青柳寺庫裏 (相模原市)
古民家研究会 / Photo By Dr.Horie

(設計同人) **スズキ・オオキ 建築デザイン アトリエ**

一級建築士事務所

建築士事務所登録 (神奈川) No. 12510

一級建築士登録 (建設大臣) No. 187041

福祉住環境コーディネータ 検定 No. 11-2-03112

OFFICE (協働事務所閉所) 神奈川県相模原市南台 5-9-1

ATLIER: 〒252-0001 神奈川県座間市相模が丘 1-25-4-101

オオキ・ダイレクト <Mail> ookimasami@sagamipara.net

Fax. (042) 851-6708

現場携帯 TEL (緊急用非公開)

2004/04 版

2010/05/31 改訂